



一人ひとりに愛と希望を——
社会福祉法人 九十九里ホーム

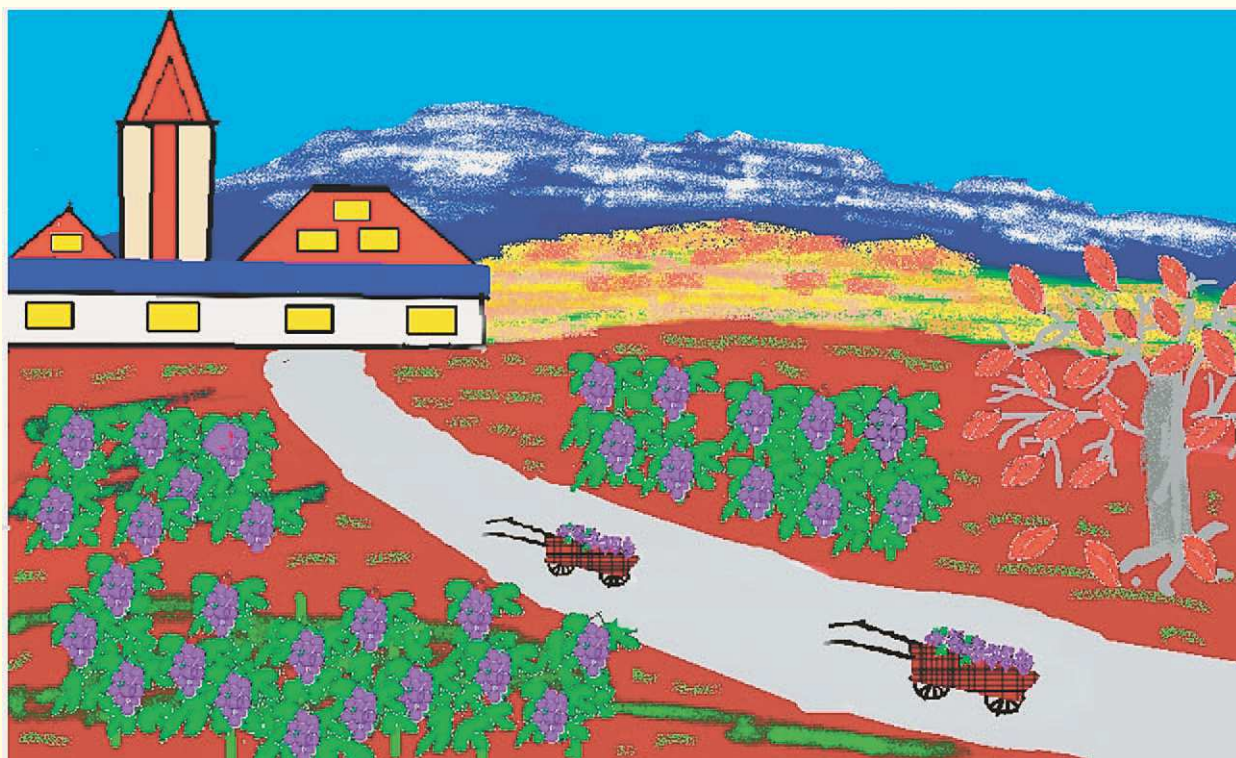
第 23 号

平成25年9月30日発行

ひとつぶの麦

社会福祉法人
九十九里ホーム

〒289-2147
千葉県匝瑳市飯倉21番地
TEL 0479-72-1131(代)
<http://www.99-home.com>



(聖マーガレットホーム 澤田 明江さん)

「まことは地から萌えいで 正義は天から注がれます。

主は必ず良いものをお与えになり わたしたちの地は実りをもたらします。」

— 旧約聖書「詩編 第85編12節、13節」—

聖マーガレットホーム入所者の澤田明江さんがスティックをくわえてパソコンで今回描いてくださったのは、雄大な山を臨むぶどう畑で収穫物が運ばれる光景です。

ぶどうは紀元前3000年頃には栽培されていたといわれる古くから人間が栽培してきた果物の一つです。聖書の中でもぶどうは、豊穡や実りのしるしとして登場します。

畑の実りは、天候などの自然の力に加えて、そこで働く人々の努力や工夫の積み重ねによって、豊かなものにされていきます。私たちの人生の営みもこの畑の営みと似ているように思います。私たちの人生の晴れの日も雨の日も、与えられた命を懸命に生きようとするとき、神様は私たちに良いものをお与えになり、人生という畑に豊かな実りをもたらしてくださいます。

日本聖公会八日市場聖三一教会 管理牧師
九十九里ホームチャプレン 司祭ルカ片山 謙

さざなみ通信 (トピックス)

—より充実したサービスの提供を目指して— ミス・ヘンテ記念ケアセンター、九十九里ホーム デイサービスセンターの増築工事が完了しました

老人保健施設ミス・ヘンテ記念ケアセンターは、平成2年8月開設以来、利用者様の自立支援と在宅復帰を目指したケアを提供してまいりました。

この度、利用者様のニーズやサービスの多様化を踏まえ、より生活しやすい空間を提供するため、増設工事を行うこととなり、平成24年12月に着工し平成25年6月に完成しました。

1階は職員玄関、洗濯場、男性更衣室、2階と3階は浴室や配膳スペースが設けられました。



▲ 2階の浴室

また、2階は通路東側に松丘園との連絡通路を作り、両施設間の往来がスムーズになりました。

浴室は、窓の開口部が大きく採光に優れ、明るくゆったりとした空間になっており、利用者様の状態に合った浴槽でゆっくり入浴できます。何よりも各階に浴室ができたことで、移動しやすくなり、利用者様も大変喜んでおられます。



▲ 3階の浴室

また配膳スペースを設置したことで、洗面台を2台から4台に増やすことができ、食後の洗面所の混雑も軽減できました。

工事期間中には利用者様を初め、多くの方にご理解とご協力を頂きありがとうございました。



4台に増えた洗面台▶

九十九里ホームデイサービスセンター新館のご案内

昨年12月に着工した増築工事も本年6月に完了、7月より新館の運用を開始致しました。

現在の建屋が建設されて以降、デイサービス事業は介護保険制度の導入や地域密着型（認知症対応）デイサービスの開始など変化してきました。また多様化する利用者様、ご家族のニーズにお応えする為にも、従来の建屋に加え2階建新館を増築し、設備とスペースの充実をはかりました。

新館の主な特徴としては、日当たりがよく開放的な食堂兼機能訓練室（地域密着型対応ルーム）、利用者様の身体状況に対応できる広く明るい浴室、健康管理に必要な静かでゆっくり休息できる静養室と、利用者様が今まで以上に安心、快適に過ごして頂けるよう整備されています。

今後、さらに高齢化が進み在宅介護サービスのニーズが高まる中で、当センターでは介護予防の方から要介護認定を受けられた方、特に重度介護を要する方や認知症予防が必要な方などに適切なケアを提供し、お一人お一人が笑顔で安心してご利用して頂けるよう職員一同頑張っております。



食堂兼機能訓練室



静養室



特殊浴槽



リフト付き個別浴槽

当法人の粕谷節子看護顧問が逝去されました

九十九里ホーム病院の総看護師長を長く務められた当法人の粕谷節子看護顧問が本年6月16日(日)に逝去されました。八日市場聖三一教会にて6月18日(火)に通夜式、19日(水)に葬送式が執り行われ、多くの方々に参列していただきました。

粕谷顧問は、1950年12月に、現在の千葉県南房総市千倉町にて、当時安房大貫キリスト教会の牧師であった粕谷常吉師とヒサノさんの七女として生まれ、千葉県立安房女子高等学校卒業後、1969年4月に九十九里ホーム病院に入職されました。その後、銚子准看護婦学校、亀田総合病院附属高等看護学院を卒業され、看護師として九十九里ホーム病院の看護業務にたずさわ



左端が粕谷節子看護顧問

れ、1994年から18年間に渡り総看護師長として活躍されました。2012年4月からは、当法人の看護顧問として法人全体の看護業務の指導に尽力されました。

永年の看護師としての業績が認められ、2003年には千葉県看護協会功労賞、2009年には千葉県看護功労賞を授与されました。

粕谷顧問は、常に患者さんや職員に優しく接し、誰からも好かれ慕われていました。イースターカードやクリスマスカードを患者さんお一人お一人に、寝たきりで会話が困難な方にも、笑顔で声をかけながら配っておられた姿は印象的でした。また、看護業務は自分に与えられた使命として真剣に取り組んでいました。ある職員が、オムツを入れるビニール袋をたたむ業務を気が進まないで行っていた時、「そんな思いでやっているなら、やらなくていい。どんな仕事も無駄なものはない。心をこめて行いなさい。」と厳しく叱られたそうです。粕谷顧問が亡



クリスマスイブの大きなケーキ

くなった後に、病棟の看護師長から「あのたたんであるビニール袋は必要なのだ。」と言われた時、粕谷顧問の言葉を改めてかみしめたそうです。

粕谷顧問は、熱心なキリスト教信者でもあり、教会の礼拝には毎週欠かさず参加していました。キリスト教の信仰が生活の中に自然に溶け込んでおり、周りの人が喜ぶことを自分の喜びとするような信者でした。クリスマスイブ礼拝後のお茶会では、毎年大きなクリスマスケーキを用意し、子供たちが喜ぶ姿に微笑んでいました。

教会のオーガニスト（オルガン奏者）でもありましたが、ギター・リコーダーアンサンブルの「風雅」に所属し、リコーダー演奏者としても活躍しました。定期演奏会では、リコーダー以外にドイツ民謡を歌うなど、大変きれいな声の持ち主でもありました。

当法人の職員は、粕谷顧問の遺志を引き継ぎ、医療、介護、福祉の業務を通じて、地域や困っている方のために頑張っています。

レポート

～福島ひまわり里親プロジェクトのご紹介～ 奥様の大好きだったひまわりを 福島の大地に咲かせたい

平成23年3月11日、東日本大震災で被災した福島県、津波で奥様を亡くされた、ある一人の男性のこの決意から「福島ひまわり里親プロジェクト」は始まりました。

平成24年7月、ガールスカウト千葉県第98団と当法人は、その主旨に賛同し震災発生直後より行ってきた復興支援活動をさらに広げ、千葉県下での福島ひまわり里親プロジェクトを開始いたしました。このプロジェクトは福島県より取り寄せたひまわりの種を植え、ひまわり畑を造ることから始まります。そしてそこから採れた種を再び福島県へ戻し、ひまわりを栽培していただき、観光やひまわり油を採油し復興に役立てて頂きます。そこでは知的作業所の皆さんの雇用も生む事が出来ます。昨年11月には、当法人内施設のご利用者をはじめ多くの方に里親になって頂いて、収穫されたひまわりの種約50kgを福島県へ直接お届けすることが出来ました。また、本年5月には、千葉県内で初となる「ひまわりステーション」を松丘園と第二松丘園内に開設することができ、この取り組みの様子は産経新聞や遠く沖縄のニュース番組でも取り上げられ、今後も情報発信基地として取り組みの和（輪）を広げてまいります。今後とも皆様のご協力をお願いいたします。



ボランティア感謝の集いを開催

本年6月29日、「平成25年度ボランティア感謝の集い」が、120名の各施設のボランティアと来賓の方々をお迎えし開催されました。海上寮療養所上野秀樹先生による「認知症と向き合う～認知症になっても幸せに暮らせる社会を～」と題した講演が行われ、一般の方にもわかりやすいようにビデオ等の映像で説明していただきました。認知症は怖くない、適切な治療で穏やかに暮らせるとのこと、大変参考になるものでした。懇親会では、ボランティアさん同士や職員との交流を深め、楽しい懇談の時間を持つことができました。また、各施設のボランティアさんのスライドを作成し、「共に支えあう社会を～九十九里ホームを応援して下さる皆様に感謝を込めて～」と日頃の活動を紹介させていただきました。



上野先生の講演

各施設では、行事の手伝い・クラブ活動の講師・入所されている方とのコミュニケーション等、様々な活動を行っています。お一人おひとりが、貴重な時間を提供して下さることで、私たち職員だけではできない潤いの時間をいただいています。

「人のために何かしたい。役に立ちたい。」と思う方は、各施設でボランティアさんを募集していますので、ぜひご連絡下さい。

いきいきシニア講座開催

本年5月18日(土)、平成25年度第1回いきいきシニア講座を特別養護老人ホーム松丘園の機能訓練室にて開催し、30名の皆様にご参加いただきました。

今回は、「こころにゆとりを…3つのヒント～幸せ感じる毎日を～」のテーマで、障害者支援施設聖マーガレットホームの永野亮太作業療法士が講師となり、日常のストレスケアについての講演を行いました。

こころにゆとりを持つために必要なこととして、「見方を変える・自分を大切にすること・今日という一日一日を大切にすること」の3点に

ついて、グループワーク形式でのエクササイズや、体操（座ってできる太極拳）を交えて学ぶ講演で、参加された皆さんは、意欲的に意見交換をされていました。

「良い話しを聞く事が出来た。体操まで教えてもらえ楽しかった。」「身につけるようにしたい。」「機会があればまた参加したい。」などのご感想を頂き、大盛況のうちに講演会を終了することが出来ました。今後とも生活に密着した講座を地域の皆様とともに作っていきたくと考えております。ご協力をお願いいたします。



永野作業療法士による講演



座ってできる太極拳

建築物省エネ改修推進事業

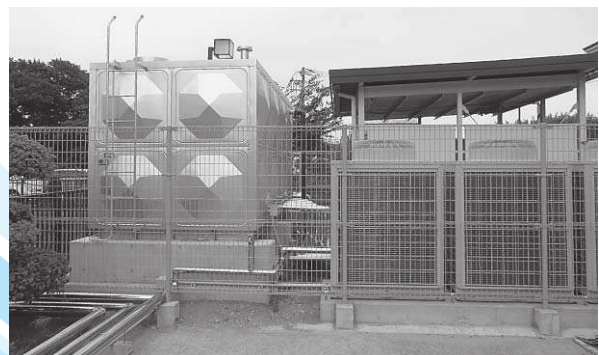
第二松丘園にて改修工事を行いました

第二松丘園では、費用の一部に補助金交付を受け、当法人4か所目となる省エネ改修工事を実施しました。工事内容は、既存の重油ボイラを夜間電力を利用したヒートポンプ給湯機への更新と、既存のガラスを複層ガラスへ改修するものです。予定は、本年3月着工6月完了でしたが、5月着工7月完了へと変更はあったものの、大きな問題もなく作業はほぼ予定通りに進みました。

夏の午後に西陽のあたる部屋はかなり暑く、利用者の方々は居室から廊下に出て涼んでおられました。複層ガラスのおかげでそれとも少なくなりました。

また、夜間電力を利用したヒートポンプは

今まで重油でお湯を供給していたものが電気に代わり、二酸化炭素の排出削減につながり、クリーンで地球温暖化対策に多少なりとも貢献できたのではないかと思います。



夜間電力を利用したヒートポンプ給湯機

93歳の現役フラガール

～養護老人ホーム瑞穂園～

本年7月10日、山武市成東の「のぎくプラザ」において、フラダンス発表会が開催されました。当園からは入所者の稲並千枝子様、職員や先生と共に「南国土佐を後にして」、「島のブルース」の2曲を披露され、当園からの応援団や会場の皆様から喝采を浴びました。

稲並様は93歳になりますが、「平成8年から現在まで参加させて頂いていますが、皆様からの拍手が励みになり、ますます若返った気分になります」と話されていました。

8月からは、すでに来年度に向けての練習が始まっています。今から来年の本番が楽しみです。



中央が稲並千枝子様

千葉県障害者スポーツ大会で 入所の方が優勝！

～聖マーガレットホーム～

本年5月26日、千葉市の千葉県総合スポーツセンター陸上競技場において、千葉県障害者スポーツ大会が開催され、当施設から参加された渡辺勝三様が、ジャベリックスローという種目で優勝されました。使用する用具は槍の代わりにロケットに似た形のターボジャブと呼ばれるプラスチック製の柔らかく安全な物で、ボールに近い感覚で投げることが可能だそうです。

大会当日は天気も良く、5月にしては暑いくらいの中で実施されましたが、その中でも渡辺様は3投全てで10mを越え、10.5mという大会記録を出されました。渡辺様は暑い日も寒い日も駐車場にて熱心に練習に取り組んでおり、その成果が発揮されとても喜んでおられました。



見事優勝された渡辺勝三様

ご支援ありがとうございます

ボランティアのご紹介

～瑞穂園～

富谷お囃子連 様

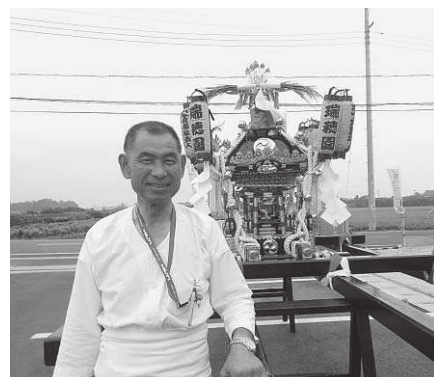
毎年、瑞穂園で行われる夏祭りに富谷お囃子連の皆様がお囃子を楽しませて下さいます。入所されている方は、笛や太鼓の音色に心躍らせ、地域の皆様も参加される夏祭りのハイライトとして楽しみにされています。入所されている93歳の方は、「お囃子を聞いて御神輿を見ると元気になる。来年まで生きてまたお祭りに出たい。」と話されていました。



富谷お囃子連 様

井上 武 様 (御神輿提供)

井上武様は御神輿を三基所有されています。当法人各施設の夏祭りだけではなく、お祝いのイベント等にも活用されています。「御神輿を持つのが子供の頃からの夢。希望される方には貸し出しをします。」と話され、御神輿の魅力を皆さんに広めたいとのこと。



井上 武 様

卓球同好会通算10度目の優勝

本年7月7日（日）に第52回千葉県医業健康保険組合被保険者卓球大会が、千葉市「JFE 体育館」で行われ、当法人の卓球同好会から13名の職員が参加しました。

団体戦では、見事優勝する事ができ、通算10度目の優勝を達成しました。個人戦でも女子1部で優勝するなど好成績をあげる事が出来ました。

年々部員も増え、卓球同好会を通して施設間の交流も図りながら、頑張っています。

<主な成績>

団体戦 優勝 九十九里ホーム

個人戦

女子 1部 優勝 潮来弘美(瑞穂園)
女子 1部 三位 福島友里(第二松丘園)
女子 初心者 優勝 北田美佳(第二松丘園)



野球同好会躍進!!

九十九里ホーム野球同好会は、本年4月～8月に渡って開催された「第55回千葉県医業健康保険組合被保険者野球大会」に出場し、見事ベスト8進出を果たしました。ベスト4進出を懸けた試合では惜しくも敗れてしまいましたが、野球同好会が平成17年に結成されて以来、初の快挙です。

公式戦は他にも、「匝瑳市民大会」（春季、秋季）、「長嶋茂雄旗争奪野球大会」（8～9月）に参加しており、近隣の野球チームとの練習試合も随時行っています。

現在、会員数は約20名。横芝光町の町営野球場を拠点とし、月に2～3回のペースで練習を行っています。内容はキャッチボール、ノック、打撃練習等を行い、1時間半～3時間の中で、効率の良い練習を目指して取り組んでいます。



目標は大会で好成績を挙げる事ですが、普段は交流の機会の少ない他施設の職員との交流や親睦を深めるといった目的も持っており、経験者・未経験者問わず、和気あいあいとした雰囲気です。

今回の大会での躍進により、会員の士気も益々高まっています。今後の活躍にご期待下さい。

交通安全委員会の紹介

当法人の交通安全委員会は、利用者様の送迎や職員の通勤時の交通事故防止を目的として活動しています。当法人では100台を超える業務用車輛を保有し、毎日デイサービス等の送迎やヘルパー、ケアマネジャー、訪問看護などの業務に多くの車を利用しています。

当委員会では各施設から出された交通に関する問題点を話し合い、決定事項を全職員に報告しています。特に、年に数回、安全運転重点期間を設定して、職員の通勤時のシートベルト着用点検を実施しています。今年は新たに安全運転を呼びかけるのぼり旗を作成し、各施設の入り口付近に設置しました。また、毎年10月には、交通安全講習会を開催し、安全運転の基礎知識やDVDなどの視聴を通して職員の意識向上を図っています。



今年作成したのぼり旗

助成・寄贈

福祉タクシー彩雲様より車椅子の寄贈

九十九里ホーム病院

福祉タクシー彩雲様より車椅子を10台寄贈していただきました。彩雲様には、当病院の患者様が他の病院を受診する際などに、大変お世話になっております。

彩雲様には、このような患者様の移動の手助けになればと寄贈くださったものです。深く感謝すると共に、大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



千葉県共同募金会より福祉車輛の寄贈

山田特別養護老人ホーム

千葉県共同募金会より、新しい福祉車輛(ニッサン・キャラバン)を寄贈していただきました。

車椅子のご利用者が安心して使用する事ができます。

今後とも安全



運転に努め、有効に活用させていただきます。

ありがとうございました。

NHK歳末たすけあいより車椅子の寄贈

養護老人ホーム瑞穂園

千葉県共同募金会より、「NHK歳末たすけあい助成事業」として、車椅子10台を寄贈



していただきました。入所様が安全で快適な移動ができるよう、大切に使用させていただきます。

福祉チャリティバザー ご協力ありがとうございました

本年9月15日(日)、九十九里ホームデイサービスセンターにて、福祉チャリティバザーを開催いたしました。784名の個人、76の団体にご協力いただき、691,595円の売り上げがありました。この売り上げは、東日本大震災福島原発による様々な被害の復興支援のためにご協力させていただきます。バザーにご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

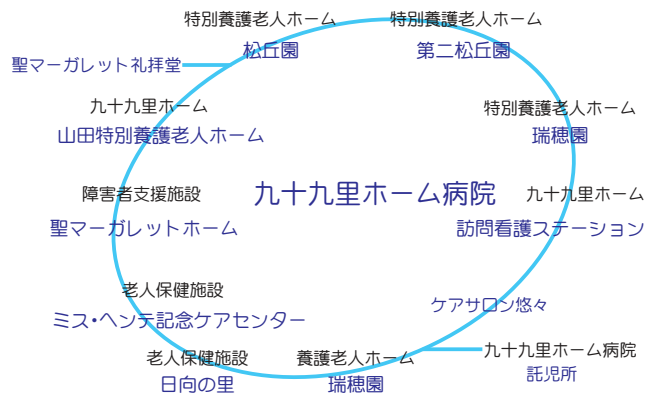
がんばろう千葉



チーバくん

当法人は
「がんばろう！
千葉」
応援隊に参加
しています

九十九里ホームネットワーク



九十九里ホーム病院・入院相談のご案内

～『医療福祉相談室』～

九十九里ホーム病院には、急性期の治療を行う一般病棟の他に83床の療養型病棟があります。病気や病状によっては、急性期の治療が終わった後にリハビリや療養目的で療養型病棟へ移り、入院生活を継続することができます。他の急性期病院から当院に移って、療養型病棟で入院生活を過ごしていただくことも可能です。また、自宅での介護が大変になり、早急に施設に入りたいけれど、まだ医療が必要な方が、療養型病棟に入院していただくケースもあります。ただし、ご希望されても療養型病棟の対象とならないケースもありますので、詳しくは『医療福祉相談室』にご相談ください。

【九十九里ホーム病院に転院・療養入院をご希望される場合】

◆他の病院に入院中の方の場合

- ・現在入院中の病院に相談員（ソーシャルワーカー）がいらっしゃる場合は、相談員さんに九十九里ホーム病院への転院を希望していることをお伝えください。相談員さんから当院に相談が入ります。
- ・入院中の病院に相談員がいらっしゃらない場合は、入院中の病院の先生（主治医）に転院できる状態であるかご確認いただいた上で、ご家族様より当院『医療福祉相談室』にご連絡ください。

◆在宅で困っている方の場合

- ・まずは当院の医療相談福祉室にご相談ください。

《入院までのご相談の流れ》

- ①入院のご相談。（電話）
- ②現在入院している病院または在宅の主治医より紹介状（診療情報提供書）、看護・介護情報をいただく。
- ③情報を基に医師が入院の可否を判断。
- ④ご家族様に来院していただき、入院費用や必要物品、病院の体制等についてご説明。
- ⑤ベッドを調整。
- ⑥入院。

*見学をご希望の方は随時受け付けております。事前に『医療福祉相談室』にご連絡ください。

《お問い合わせ・ご連絡先》

九十九里ホーム病院
医療福祉相談室 佐谷・佐藤

電話 **0479-72-1131** (代表)

受付時間：月～土 8：30～17：00

*日祝日及び年末年始はお休みです。